

Q 槻木地区の将来は



星 吉郎 議員

A バランスの取れたまちづくりを目指して



待たれる道路計画

問 この1年間、町長は地域を回り、町全体を見て町政を肌で感じたと思います。町長は、まちづくり委員会を設置し、様々な議論を重ね、さらに、調査研究をしていると思います。しかし、限られた財源で既存の事業の執行にも危ぶまれる状況の中、槻木地区の町づくりをどのようにプランニングしていくようとしているのか。

答 この先3町合併が実現された時、槻木地区をどのように繁栄させていくとしているのかお伺い致します。

答 滝口町長 槻木地域の伝統ある祭や行事を大切に継承することにより、交流を生み出し地域を活性化して行きます。特に交通安全確保のため、畑中踏切拡幅工事委託、また、槻木地区への特別養護老人ホームの整備を具

に要望している所です。また、3町合併協議会で、ビジョンとなる将来構想で多極分散型の都市構造を確認しており、私としては、人口の集積と地域の歴史・文化を考慮すれば、大河原、村田、船岡、槻木の4極構造を基本とした都市作りと、道路ネットワークの構築に意を強く持ち、槻木住民の意見を伺います。



杉本五郎 議員

Q どうする財政の健全化

A 利益誘導・おねだり型民主主義からの決別

問 (1) 私は先に、この不況時に十年一日のごとく『攻めだ、攻めだ』とだけで財政は大丈夫かと質問したが、当時の町長は「無い袖も振るのが政治」と言っていた。この事をどう分析されるか。

(2) また、使うあてもないのに「土地を購入しては不良資産とし、売却しては財政損失を招く」と言われても、今となっては「損して得をとる」しなく、例えば買値の半額でしか売れなくとも、

思い切って売却すべき土地もあるのではないかと。(3) 今後も財政状況の好転が望めなければ、歳出を切り詰めるしかなく、事務・事業の見直しが必要でないか。

二つ目には公共事業で地域が活性化すると幻想で、陳情による利益誘導・おねだり型民主主義にあつたと思います。今こそ収入に見合う所まで歳出を削る事が大切と考えます。

(2) 土地については駐車



秋の収穫風景

場等の賃貸や、利用のあてのないものについては売却していく方向で進めてまいりたいと思います。

(3) 財政健全化のため、不要不急の事業を見直し、歳出の縮減に努めます。